

平成 30 年度 第 11 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 31 年 2 月 18 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第11回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成31年2月18日（月） 午前9時30分～午前11時00分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	片山繁樹	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	原 真弓	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	小河秀義	市民協働課長
西田征博	人権推進課長	福元佳代	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

前田委員

6 前回会議録の承認

平成30年度第10回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の2点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

一宮北地区幼保一元化協議会は、第9回協議会を1月30日に開催し、一宮北中学校の生徒にデザインを募集したところ58点の応募があり、その中から園章を決定した。園歌については、業者に制作を委託しており、業者より初回の提案を2月22日に受けて、協議会委員に試聴していただき、意見を伺った部分を修正して完成させていきたいと思っている。園舎の工事進捗状況は1月末で70%の出来高となっており、3月15日に完成予定である。

一宮南地区幼保一元化協議会は、第2回協議会を1月22日に開催し、園舎の配置案と間取りについて協議を行った。委員からいただいた意見を設計に反映し、3月中に設計概要の最終確認をしていきたいと考えている。

戸原地区幼保一元化協議会は、第6回協議会を2月26日に開催する。一宮北地区協議会と同様に園歌の試聴を行い、委員からのご意見をいただき完成させる予定である。

(2) 小学校・中学校・幼稚園・こども園の卒業・卒園式について

3月8日に市内7中学校、3月22日に市内12小学校の卒業式、3月19日に市内9幼稚園の卒園式が予定されている。また、保育所、こども園においても修了式を行う予定となっている。なお、三方幼稚園、戸原保育所、一宮北保育所については、閉園・閉所セレモニーを行うこととしている。ご都合がございましたら、委員の皆さまのご出席をよろしくお願いします。

8 議事

議事に入る前に、第23号議案及び第24号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、歳入歳出予算のうち教育に関する部分で議会の議決を経るべき事件の議案作成において、教育委員会の意見を聞くこととなっているもので、議会提案前の内容となっており、地方公共団体としての意思形成過程、意思形成の中立性の観点から、非公開といたしたいと教育長が説明し、審議の結果、全員「意義なし」とし、第23号議案及び第24号議案は、協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

第22号議案 平成31年度「宍粟の教育」について

平成31年度の宍粟市の教育を実施するにあたり、教育方針を定める必要があるため、平成31年度「宍粟の教育」を作成することについて、世良学校教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、決定された。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(片山委員)

前回の委員会での意見が反映されていていいと思う。

9 協議報告事項

(1) 小学校規模適正化についてのアンケート集計結果について

資料1「学校規模適正化についてのアンケート結果報告」により、進藤教育総務課長が報告した。

(2) 平成30年度卒業（卒園）式、平成31年度入学式について

資料2「平成30年度卒業式の出席者について」ほかにより、進藤教育総務課長が報告した。

(3) 宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について(平成30年度2学期)

資料3「宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について(平成30年度2学期)」により、世良学校教育課長が報告した。

(4) 幼保一元化推進状況について

資料4「幼保一元化推進の状況」により、中尾こども未来課長が報告した。

(5) 学校給食における異物混入対応について

資料5「平成30年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(6) その他

第1回市民スキー大会、第14回市駅伝大会の実施について

口頭により小河市民協働課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案について、毎学期、いじめが減るように、また、いじめの早期発見にご努力いただいていることは大変なことであると思う。41ページの4(例)の市ホームページに市内保護者から投稿があった事案について、「学校関係者の方は把握しているのか」とあるが、それは学校関係者という意味なのか、教育委員会の関係者という意味なのか。また、学校はそれまでに把握できていたのかということをお願いしたい。また、40ページの上段の枠内のいじめの捉え方について、「いじめ事案発生件数」とあるが「いじめ事案認知件数」に変えていただければと思う。

(学校教育課長)

2点目については、前回は指摘いただきました箇所であり、「認知」と訂正させていただきたいと思う。1点目の41ページ最後の事案について、詳細に説明をさせていただく。8月2日夏季休業中に市ホームページに投稿があり該当校に連絡をとった。該当校は緊急にいじめ問題校内委員会を開催し、1学期の5年生児童の様子について気になる事がないか再確認していただき、そこで気になる事案が出てきた。4月の家庭訪問の中で、ある女子の保護者から「自然学校の班分けで同じ班になることが不安な児童がいる」という訴えがあったということである。自然学校の様子では、問題はないと思っていたが、7月の個別懇談会で同じ保護者から再び訴えがあり、担任を中心に教職員全員で、女子児童Aを見ていたが、誰かを怖がったり嫌がったりする様子はなく、夏休みに入った。この時点では、特定の相手も見当たらない状況であった。今回の投書を踏まえて、8月6日全校登校日に次の3点について学校は対応することにした。①全児童の様子を把握するための全校アンケート調査を実施する、②登校日のうちに、アンケートの集約を行い、気に

なる記述があった場合は聞き取りをして問題を把握する、③該当児童に何か記述があれば8月6日のうちに家庭訪問をし、保護者と面談をする。この3点について実行した。実施する時に担任から児童には、「夏休みの頑張りを知って2学期のスタートに役立てるためにアンケートを実施する」、「2学期に向けて心配している事や悩んでいることを知り、夏休み中に解決し気持ちよく2学期を迎えるということも必要なのでアンケートを実施する」と伝えた。このアンケートにAさんが初めて相手をBさんと書いた。Aさんに聞き取りを行い、「きつい事を言われることがあり辛い」ということを聞き取り、担任がAさんの家庭訪問を行い、Aさんのご両親と面談し、「2学期の始めにはBさんと面談を行い指導することにしたい」と伝えると、Aさんも保護者も同意され、家庭訪問を終了した。学校に帰った担任を迎え、2回目のいじめ問題校内委員会を開催し、今後の対応について協議を行った。アンケートを再確認したが、気になる記述はAさんのみであり、Aさんの対応に集中して取り組む方針が決定された。2学期始業式の日にはBさんから聞き取り調査を行い、「5年生になってから何度かAさんにきつい言い方をしたことがある」ということをBさんが認めため、Aさんは傷ついているなどの話をして、相手を傷つけない言い方をしないといけないという話を担任からした。BさんがAさんに謝りたいと言ったので、別室で時間をとりAさんにBさんから直接の謝罪の機会をつくった。同日の全校集会では、この事案を関連付けた説話を校長から行い、「友達のことを考え、いじめのない2学期をスタートさせよう」と全校生徒に呼びかけた。同日、Aさん、Bさんそれぞれの保護者に対して家庭訪問を行い、今回のいじめ事案と学校の対応について連絡し、以降、学校生活の中で全教職員が注意深く様子を観ていくので安心してくださいとお話をさせていただいた。それ以後、このようないじめ事案については解消ということで、報告させていただいた。今、1例をあげたが学校からはこのような詳細な報告が全て上がってきている。丁寧に対応していただいていると理解している。

(前田委員)

市内の不登校児童生徒は何名くらいいるのか教えてほしい。

(学校教育課長)

長期欠席の中で、病気、経済的理由、その他の要因で欠席している者を除いたものが不登校である。現在、長期欠席が35人、うち不登校が30人程度いる。いじめが原因となる不登校はいないと認識している。

10 次回会議の招集について

平成31年3月15日（金）午前9時30分から、平成30年度第12回宍粟市教育委員会を開催するとした。

11 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前11時00分終了